

【編集元】民主党三重第2区総支部 衆議院議員中川正春事務所

E-mail: g03063@shugin.go.jp

三重／〒513-0013 鈴鹿市国分町 453-7

TEL: 059-373-3933 / FAX: 059-374-3088

東京／〒100-8981 千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 428 号室

TEL: 03-3508-7128 / FAX: 03-3508-3428

## ○テロ特措法は、自衛隊だけが全てではない。

国会の明日がどうなるのか誰も予測がつかなくなってきました。テロとの戦いを名目にインド洋に展開した自衛隊の燃料補給艦は、期限切れで一旦、日本に帰ってきます。イラクとは切り離して、アフガニスタンのアルカイダ、タリバンなどテロ組織との戦いを前提に、インド洋での海上阻止活動に対する燃料補給だと説明してきた政府の話が崩れています。補給した燃料の半分以上がアフガンではなく、最終的にイラク攻撃関連の軍事活動に使われたことが、アメリカの資料や艦船の司令官の証言からハッキリしてきました。アメリカ軍にとっては、イラクも、アフガニスタンも一体的な軍事戦略です。憲法の制約を意識して、インド洋のアフガニスタン関連テロ活動だけに絞った特別措置法は、官僚の苦し紛れの屁理屈でつくられた。だから、現場やアメリカの軍事展開の実情には、あっていないということです。国会の出口は、まだ見えてきません。

私は、こんなことにモヤモヤしていないで、アフガニスタンに軽工業を主体にした工業団地を日本政府と民間の協力で作ることだ。その造成や治安維持に自衛隊の力を利用するなど、経済基盤と雇用の創出に日本の支援を特化してはどうかと言っています。

## ○来年の予算審議が剣が峰

来年の通常国会に向けた準備が始まっています。民主党は、マニフェストで国民に約束した問題を、具体的な法案にすることです。子ども手当を中学校卒業まで、一人2万6千円。農業の担い手に、直接所得補償。国民年金も含めた全ての年金の一元化と、7万円までの税による最低保障年金。こうした政策の財源15.3兆円を捻出するために、税の無駄遣いを徹底的に整理するための「無駄遣い一掃法案」や、

税制や特別会計見直し法案など真剣な議論が続いています。すでに10本を越す法案が参議院に提出されました。従来の発想にこだわらず、新しい切り口で挑戦しています。

こうした私達の動きに、官僚達は目を白黒させています。積極的に手伝うと言う人達も出てきました。事前に話し合いを持って欲しいという与党からのアプローチもありますが、そこは、国会の舞台を使っ、国民に分かるようにオープンにやろうと言っています。結果として、妥協点が見つからなければ、国民に信を問う解散総選挙となるのでしょうか。周辺のマスコミは、来年の春、予算関連法案をめぐっての解散が一番の可能性かと騒いでいます。

## ○予算委員会始まる

9日から予算委員会が始まりました。去年の強行採決と対決の雰囲気とは、まったくの様変わり。閣僚だけではなく、与党の委員たちも、話し合いの糸口を見出していこうと言う意図があって、なるべく民主党を刺激することは控えようと言う様子が見えます。

11日には、私も質問に立ちます。地方財政の格差を解消するには、東京から余剰金を引っ剥がして、民主党の主張している補助金を交付金化する時の配分基準に、貧しい地方への特別加算をする水平的な調整が必要。郵便銀行や簡保の資金は、国債運用を、郵便事業のサービスを全国津々浦々と規定すれば、民営化後の採算は取れないことがはっきりしている。その他、年金、アフガニスタン問題や、北朝鮮問題について、壁に突き当たって日本が孤立化している現状を打破するために、これまでの私の主張をしていくつもりです。

福田総理の本質も含め、この先何が起こるか、私達には正直予想が付きません。しかし、国民の皆さんにとっては、政策がよく見えて、国会が、いつもに増して「おもしろい」ことになりそうです。